



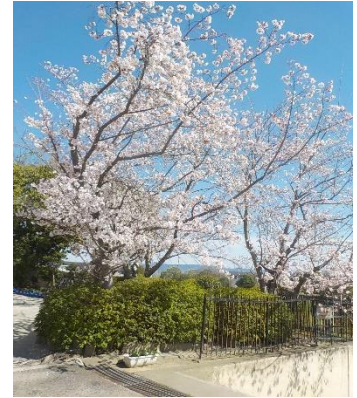
生駒市立鹿ノ台小学校

# 鹿小だより

令和 4年 4月 6日

第 1 号

## <春、新年度の始まりに心躍ります>



桜の花が散り始めていますが、4月1日の学校の桜は満開に近い状態でした。現2年生が植えたチューリップは見頃です。春は風景がカラフルで、何もかもが生き生きとしています。運動場の芝生も緑が濃くなりました。新しい学年になった子どもたちが元気いっぱい走り回ってくれるのを待っているようです。

さて、鹿ノ台小学校の本年度の児童数は572名で、各学年の児童数は、1年生99人、2年生78人、3年生89人、4年生97人、5年生100人、6年生109人で、児童数が多い6年生は、個に応じた学習指導や生活指導を行うために4学級編成です。そして、しかのだい学級にも教員が加配されましたが、まだ教員が配置されていません。このような状況は、生駒市だけではなく、奈良県内に多数みられ、深刻な教員不足になっています。そこで、欠員が補充されるまで、3～5年生の算数の少人数指導教員を置きません。どうかご理解いただきますよう、お願いいたします。なお、教職員の学年配置については、入学式後の学校だよりでお伝えします。



## <着任者の紹介>

おおしなおみ たかぎかい たまきたくみ にしかずこ まえかわきやか むらかみまついち  
大西尚美先生、高木開先生、玉置伎先生、西加寿子先生、前川清香先生、村上松市先生、

やまうちはるな よこたかおり  
山内令奈先生、横田香織先生 の8名が、4月から本校で勤務する先生です。村上先生は、直接子どもたちに勉強を教えることはなく、先生への指導を行う先生です。他7名の先生は、奈良市

や生駒市から転勤してきた者、以前鹿ノ台小学校で勤務した者、教職の良さを知り、再び教員として、また、初めて教員になる者など、多彩です。なお、打抜 寛 先生と 小島章吾 先生は、市内の他の学校に転勤しました。

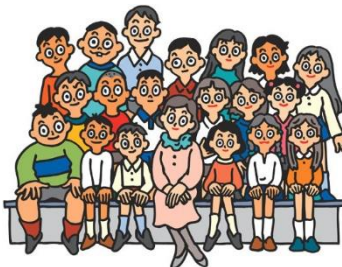


## <春休みに職員は・・・>

学校司書の山中尚子先生は、学校で購入した新しい本に透明のカバーを装着し、子どもたちに貸し出しても破損しないよう貸出準備をしていました。各学級の学級文庫の本の入れ替えも行い、クラスにより本の種類や冊数にばらつきがないよう、配慮しています。

校務員の浅井さんは、昇降口や体育館までの渡り廊下に敷いているスノコの洗浄や配膳室の大掃除、給食で飲み残した牛乳を入れるバケツの洗浄など、子どもたちがいないときでしかできない仕事をたくさんしてもらっています。

SSSの山本先生には敷地北側ののり面の整地や木々の管理を、長谷川先生には、年度初めに各家庭に配布しなければならない多くのプリントの印刷をしてもらいました。教員を支えるたくさんのスタッフが、鹿ノ台小学校の運営を支えています。



## <新学期に気を付けたいこと>

クラス替えて、仲良かったお友だちと別れたうえ、なかなか気の合う友だちが見つからず、学校に行くのが辛そうだったり、先生や友だちに「良いところを見せなきゃいけない」と頑張りすぎてしんどくなったり・・・お子さんにこのような兆候が見られましたら、どうか担任に知らせてください。学校にはスクール・カウンセラーがおり、心に疲れが溜まってきた子どもたちが、自分の本当の気持ちを吐き出したり、聞いてもらったりできるような体制を整えています。

## <日めくりカレンダー>

3年ほど前から使っている日めくりカレンダーがあります。毎月、

2日は「向き不向きより、前向き」(年度初め、山積みの書類を前に、この言葉はじんわり効いてきます)。

3日は「元気は出るものではなく、出すものです。」

5日は、「**出会いは奇跡**」

でした。次の日の始業式にぴったりの言葉です。今日には子どもたち一人一人に素敵な出会いがありますようにと願いました。願いはかなったでしょうか。お子さんのお話をじっくり聞いてください。